



院長 山岡 薫先生
秋田市千秋矢留町6-30
トーカンマンション千秋薦匠橋1階

プロフィール
出身:にかほ市象潟町
家族:妻・長女・長男
●あきた木木遊び隊 隊長
●ファザーリングジャパン会員
●ワークライフバランス
コンサルタント



クローバーデンタルの山岡院長と一緒に、仕事(ワーク)と日々の暮らし(ライフ)のバランスについて考える連載。今回は、コロナ禍による新しい生活様式の中でのさまざまな働き方についてアドバイスをいただきました。

* テーマ * コロナ禍での働き方 「新しい仕事様式」へ

ママファミ編集部（以下ママ）
新型コロナウイルス（以下コロナ）感染の拡大は、新しい生活様式への移行が余儀なくされる時代となりましたね。女性の働き方にも影響が考えられますか？

山岡院長（以下山岡）

そうですね。コロナ禍において「新しい仕事様式」への移行も急速に拡がっています。以前からお伝えしてきたように、ワーク・ライフバランス（以下WLB）、働き方改革で示されていた概念や方法が、まさに現実となっているのではないでしょうか。多くの方が、急な変化に戸惑っているようにも感じます。

ママ 在宅テレワーク、※ジョブ型雇用、従業員シェア、副業の推奨など、コロナ感染拡大前には、なかなか取り組みが拡がりにくかったもの

を、企業側は今どんどん進めていますね。

山岡 その通りです。私も、これまで仕事へのあり方を発信し続けてきましたが、正直なところ、現実となるのは「もう少し先の話かな」と思っていました。女性活躍推進法の目標年度であり、オリンピックイヤーの2020年までは、雇用も安定していくものだと考えていましたし、企業が労働環境を整えても、

我々が実感するのは、さらに先になると見込んでいました。それがあつた間に拡がる結果となりました。

ママ コロナの感染拡大を目の前にして、働き方改革やWLBを進めていたメリットは大きいなど感じています。

山岡 おっしゃる通りです。概念だけでも取り入れていてことで、新しい仕事様式の変化にすばやく対応でいるのです。会社から「急に明日からテレワークを始める」と言われても、情報が無かつたら、行動できないでしょもんね。私たちのように、普段から家族や職場と情報交換ができるいて、少しずつ取り組んでいるからこそ、仕事様式の変化に柔軟に対応できるのだ実感しました。

ママ うちちは共働きをしていますが、コロナ禍で「健康と生活」の両立を考えると、生活面での危機予測対策はできているかなと感じています。

山岡 私もそう思います。会社が存続できない状況が、現実となっています。会社から「急に明日からテレワークを始める」と言われても、情報が無かつたら、行動できません。私たちのように、普段から家族や職場と情報交換ができるうちに、「仕事があるのが当たり前」ということが揺らいでいる中、私たちもお互いに助け合う姿勢が、これらももっと必要になると思います。会社と社員、企業と自治体、職場と家庭、経営者と社員、夫と妻、男性と女性…。コロナ禍において、一つ良かった点を挙げるとしたら、お互いが成り立つよう協力し合い、相乗効果を生み出すことの大切さに、気づかせてくれたことかもしれませんね。

※ジョブ型雇用／職務・勤務地などを限定した雇用契約（エリア社員など）

もう一度話し合う必要がありますね。

ママ これまで、女性が働きやすい労働環境づくりを企業は進めてくれていますし、それを自治体も後押ししてくれているようです。共働きでできることに感謝しないといけませんね。



ワーク・ライフバランスを考慮した

働き方改革を実施！

8月より全スタッフ（歯科医師以外）は
17時台に退勤します。

早い時間に帰宅していただき、個人の時間の有効利用を目指します。



一緒に成長するパートナーを募集しています！

歯科衛生士（パート可） 完全週休2日制



基本給15.5万円+職種手当4万円+固定時間外手当2万円+通勤手当1万円=22.5万円～（新卒）
賞与 業績変動制（年間3ヶ月分）昇格（6段階）に伴い、
基本給（15.5万円～25.5万円）が変動します。中途採用は要相談。

詳しくは、CLOVER DENTAL採用ホームページ（<http://recruit.cloverdental.com/>）を参照してください。

※2020年8月現在のスタッフ数 歯科医師 2名、看護師&TC 1名、歯科衛生士 7名、歯科助手 1名、受付 4名、保育士 2名、サプライ 3名、事務1名 計21名